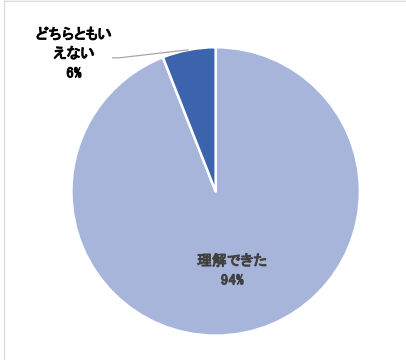


1. 今後の市町村がん検診のあり方について (資料1)



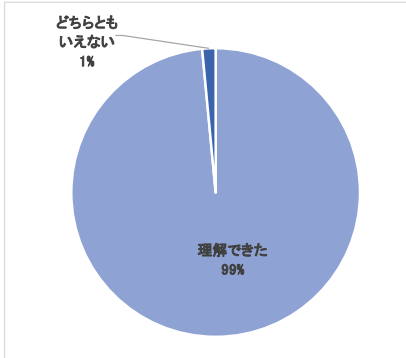
検診のデメリットの伝え方が難しいですが、取り組んでいきたいと思えます。

がん検診勧奨時に、利益・不利益の両方を伝えることの必要性がわかりました。また、要精検者対応時には、偽陽性者の不安によるQOL低下という視点を忘れないようにしようと思えます。

がん検診の受診率を上げることが良いと思っていたため、不利益があることも分かって案内することを知った。

とても参考になりました。診療・検診ルールに相違があり、そのため医師との話が進まないことがあることを踏まえて対応しようと思えます。また、市民の方からマンモを毎年受けれるようにしてほしいとの要望をしばしば伺うのですが、今回の話をもとに理由を十分に説明しようと思えました。

プレストアウェアネスの意義について (資料2)

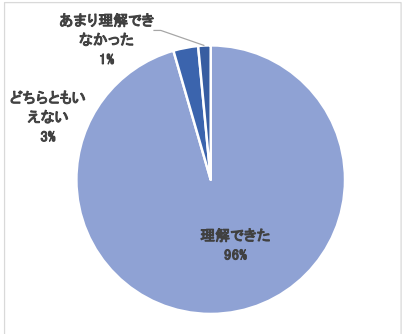


プレストアウェアネスの意義、自己検診との違い等がよく分かった。例で挙げられていたマンモの待ち時間での指導等、本市で可能な事を検討していきたい。

プレストアウェアネスと自己検診の違いもご説明いただき、非常にわかりやすい講義でした。現在担当している地域は、乳がん治療における医療費が比較的多くかかっている地域であるため、正しいプレストアウェアネスについて伝えていきたいと感じています。

女性自身が自分の体を自分のこととし、適切な検診・受診行動につなげるために、プレストアウェアネスが大切だと再認識しました。

大阪府内市町村がん検診受診者数の調査結果等について (資料3)



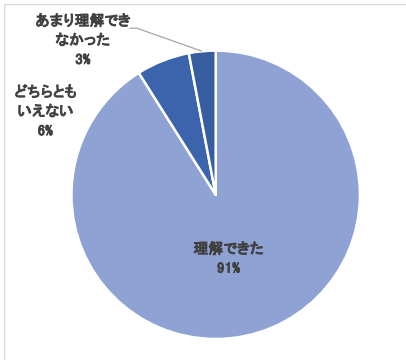
大阪府がん種別受診者数のR1~R3年度比較と本市も同じ傾向でした。

大阪府の受診率の推移がとても分かりやすかったです。がん種別の受診率の推移もとても参考になりました。資料など利用しながら受診勧奨・啓発を実施していきます。

グラフがわかりやすく、コロナ前との比較もできて勉強になった。

「府民にきいたがん検診を受けていない理由とは」のアンケート結果が興味深かった。周知活動の参考にしたい。

精度管理センター事業紹介2022 (資料4)

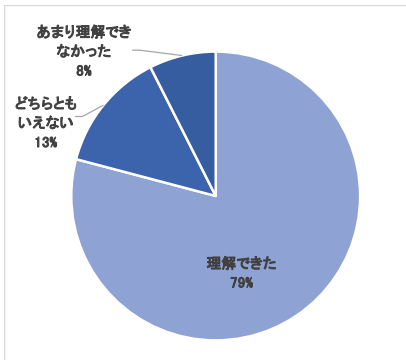


精度管理センターの概要等が理解できた。今後各種資料やデータ等が精度管理上必要となった場合はご協力をお願いしたい。

精度管理センターの体制や、事業内容の説明がわかりやすく、がん検診事業を進めるうえで、積極的に質問をし、助言を頂きたいと思った。

精度管理センターの役割について、知らない部分もあったため整理できました。

大阪府精度管理システムと地域保健・健康増進事業報告の注意点について (資料5)



報告で難しい点に的を絞ってご説明いただき、大変参考になりました。

地域保健・健康増進事業報告の注意点について、よく理解することができました。注意して報告を行いたいと思えます。

検診の結果入力、精検結果の判断は今まで以上に注意して入力するとともに、正確なデータを残せるよう、精度管理システム活用していきたい。